

小野高等学校 生徒の皆さんへ

明日5月11日は創立記念日、82年の歴史をともに振り返ろう！

本校は、昭和17年（1942年）に小野新町、滝根町、飯豊村そして夏井村からなる組合立の田村農蚕学校として設置されました。この前年には、太平洋戦争が勃発していますので、戦時中に開校した学校ということになります。

本県は、明治時代から養蚕業が盛んでした。小野町をはじめとする田村地域において、蚕の餌となる桑栽培が盛んに行なわれ、地元の主要な産業として養蚕業が発展しました。このため、その担い手を育成する学校の創設は、地域経済の発展には欠かせない要素でした。

昭和22年には福島県立に移管し、福島県立田村農蚕高等学校に、昭和23年には福島県立田村農業高等学校に改称されました。当時、農業科300名、家庭科150名の定員でしたので、とても大きな学校でした。昭和27年に福島県立小野新町高等学校、昭和30年に小野高等学校に改称され、現在に至っています。

前身が農業高校だった小野高校ですが、昭和25年に普通科が、昭和60年に商業科が設置されるなど、時代のニーズにあわせて、小野高校は大きく変化していきました。平成10年（24年前）には、総合学科が開設され、生徒一人一人の多様な学びを大切に、「夢をカタチに」の教育理念のもと、地元の皆さんに愛される高校として、多くの優秀な卒業生を輩出してきました！

明日の創立記念日を迎え、今年も新たに歴史を一つ刻むことができます。本校は、一人一人が活躍し、笑顔があふれる学校です。先月、生徒会が企画したレクリエーションが行われ、互いに協力する姿を見ることができました。

本年度も新入生29名を迎えることができました。入学して一か月余りの1年生にはぜひ、母校小野高校の良さ、素晴らしさを進んで発見してほしいと思います。4月に着任された原田校長先生も、小野高校の歴史と伝統にとっても興味・関心を抱く方の一人です。先日は、小野高校野球部県大会準優勝のエピソードを披露いただきました。時代は移り変わっても、小野高校の魂は皆さんにしっかりと受け継がれています。明日はぜひ、小野高校の歴史と伝統に思いを馳せてください。



生徒会レクリエーション（4月26日）



小野高校の歴史に触れる原田校長先生
生徒会総会（5月2日）